

平成29年度 大腸がんに関する全国意識調査 集計結果報告・徳島県

～「大腸がん検診を毎年受けている」と答えた男性は39.3%と低い～

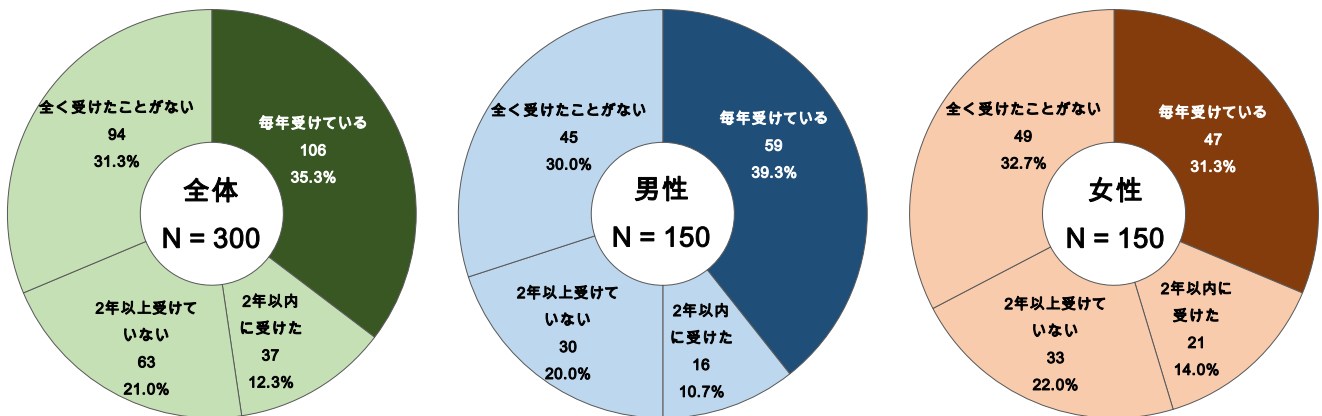
○ご注意：「全国」との比較を行っておりますので別添の「全国版」と見比べてご覧ください。

NPO法人ブレイブサークル運営委員会（所在地：東京）は、平成24年から5年間にわたり大腸がんに関する全国意識調査を行ってきました。本年は5月に大腸がん検診対象世代である40代～60代の全国の男女14,046名を対象に、大腸がん検診に関する全国意識調査（調査方法：インターネット意識調査）を実施しました。

都道府県別に集計を行ったところ、徳島県は「大腸がん検診（便潜血検査）を毎年受けている」と答えた人の割合は全体で35.3%です。男性が39.3%、女性が31.3%とともに全国より低いです。

<大腸がん検診（便潜血検査）の受診有無>

設問：あなたは、大腸がん検診（便潜血検査）を受けたことがありますか？（単一回答）



今回新しい試みとして健康保険の種類と「大腸がん検診を毎年受けている」と答えた人の関係を調べてみました。徳島県では「大腸がん検診を毎年受けている」と答えた人は、国民健康保険加入者が22.0%、職場の保険等加入者は46.9%で共に全国より低くなりました。

徳島県の一人でも多くの方が大腸がん検診を受診して、大腸がんの早期発見・早期治療につながるようお願い、調査報告をお送りいたします。お役立て頂ければ幸いです。

本リリースの掲載・取材に関するお問い合わせ先

NPO法人ブレイブサークル運営委員会／広報担当：柴田

E-mail: info@bravecircle.net TEL: 03-6908-9160 FAX: 03-6908-9150

※NPO法人ブレイブサークル運営委員会は官民連携により全国で大腸がん検診啓発活動を展開する団体です。

<http://bravecircle.net/> 過去の調査結果は当法人ウェブサイトでご覧いただけます。

【調査結果】 回答数：徳島県 300 名（男性 150名、女性 150名）

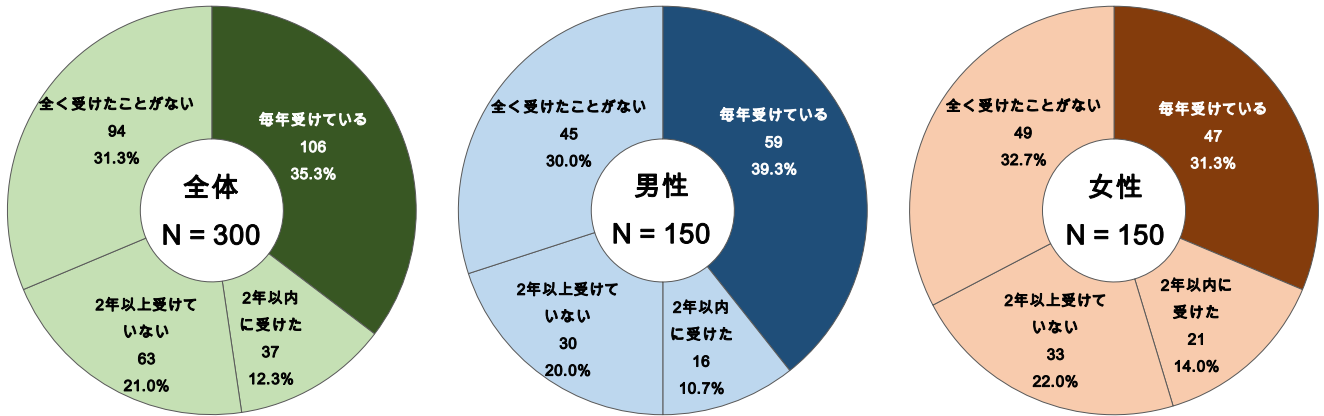
実施時期：平成29年5月 対象年齢：40代～60代 調査方法：インターネット意識調査

■「大腸がん検診（便潜血検査）を毎年受けている」と答えた人の割合

「大腸がん検診（便潜血検査）を受けたことがありますか？」という設問に関して、「毎年受けている」と答えた人が全体で35.3%、男性は39.3%、女性は31.3%でした。

<大腸がん検診（便潜血検査）の受診有無>

設問：あなたは、大腸がん検診（便潜血検査）を受けたことがありますか？（単一回答）

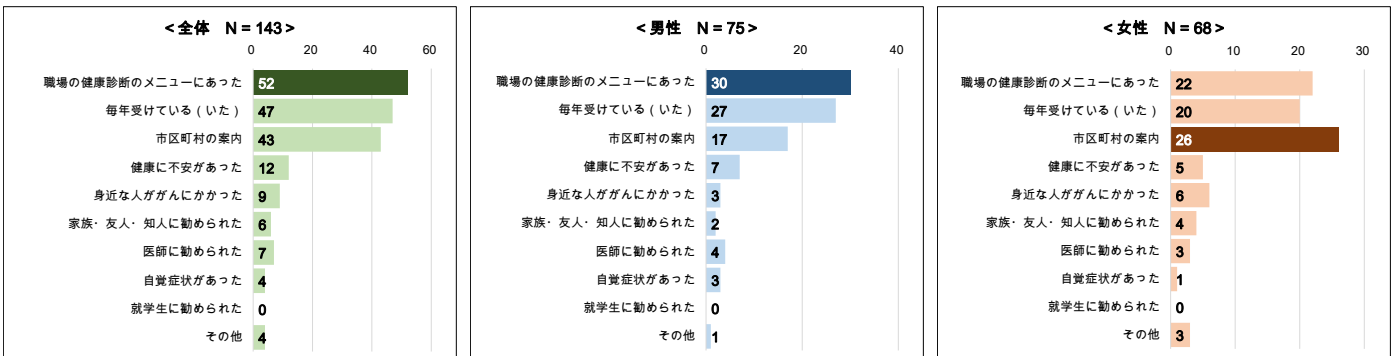


■大腸がん検診（便潜血検査）を受けるキッカケ

大腸がん検診の受診理由の上位は「職場の健康診断メニューにあった」「毎年受けている」「市区町村の案内」です。女性は全国と同様に「市区町村の案内」が1位でした。

<大腸がん検診（便潜血検査）の受診理由>

設問：どのようなキッカケで大腸がん検診（便潜血検査）を受けましたか？（複数回答可）
 （便潜血検査を「毎年受けている」「毎年受けていないが、ここ2年の間に受けた」と答えた人を対象）



※ 市区町村からの案内は

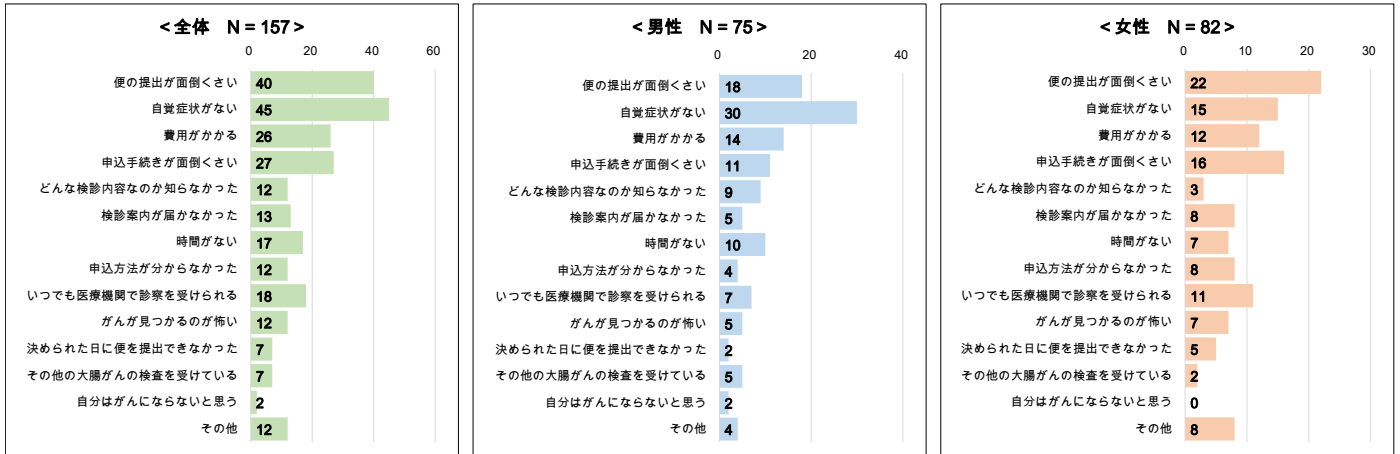
「健康（保健）推進員に勧められたから」、「市区町村の広報紙の検診案内を見たから」、「公共の場のポスターを見たから」、「市区町村からハガキや電話で案内があったから」、「個人宛に検診案内（個人負担あり）が届いたから」、「個人宛に検診無料クーポンが届いたから」の1つ以上を選択した回答。

■大腸がん検診（便潜血検査）を受けない理由

大腸がん検診を「全く受けていない」「2年以上受けていない」と答えた人に、受診しない理由を聞いてみました。全体の上位は「自覚症状がない」「便の提出が面倒」「申し込み手続きが面倒」「費用がかかる」でした。大腸がん検診に限らず自治体のがん対策部署ではこういった阻害要因の解消に向けてずっと努力されていますが、いつまでも根深い問題です。

<大腸がん検診（便潜血検査）の未受診理由>

設問：大腸がん検診（便潜血検査）を全く受けていない、もしくはここ2年以上は受けていない理由を教えてください。（複数回答可）
 （便潜血検査を「全く受けたことがない」「受けたことはあるが、ここ2年以上は受けていない」と答えた人を対象）

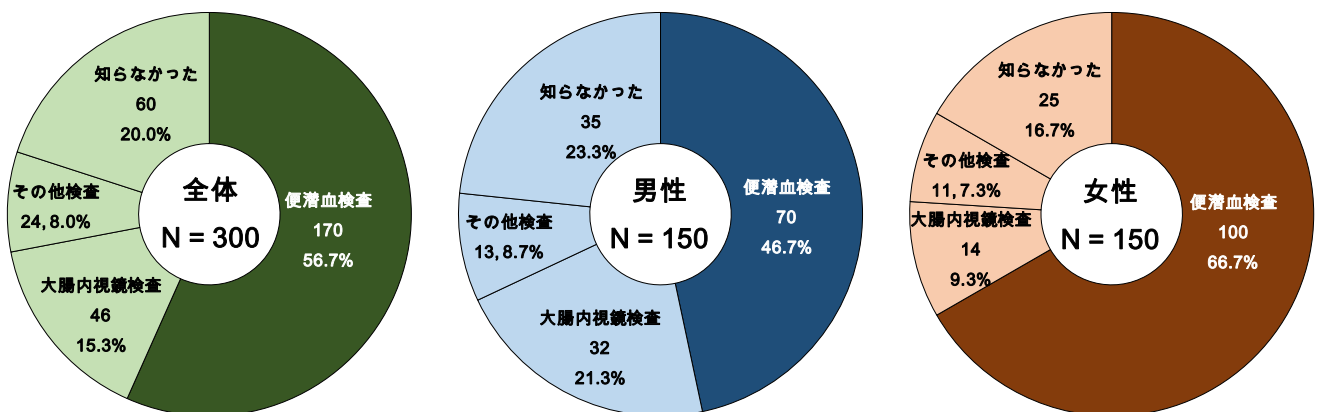


■大腸がん検診（便潜血検査）の認識

徳島県の大腸がん検診が便潜血検査であることを知っている人の割合は全体が56.7%、男性46.7%、女性66.7%です。男性は全国とほぼ同じ、女性は高いです。

<大腸がん検診（便潜血検査）内容の認知>

設問：あなたは、早期発見の手段である大腸がん検診（一次検査）について知っていますか？以下より1つお選びください。（単一回答）



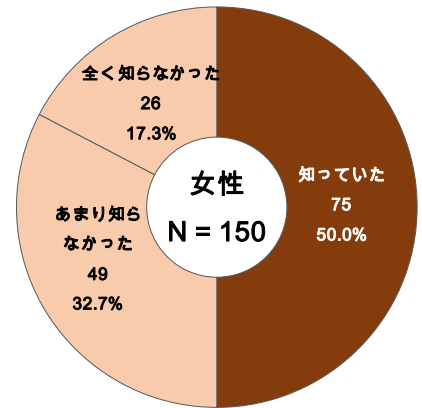
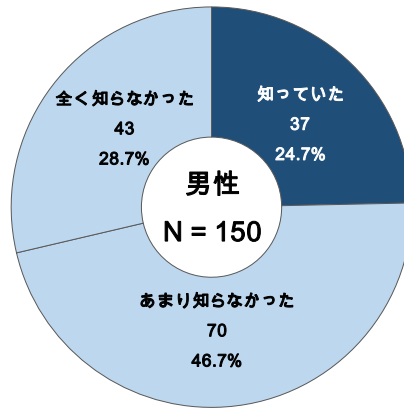
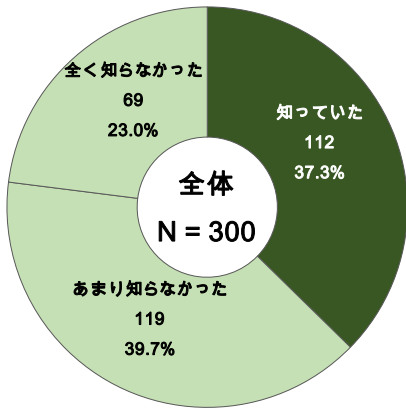
■大腸がんの危険性の認識

「大腸がんの死亡者数が胃がんを抜いて2位※になったこと」を知っていた男性が24.7%、女性は50.0%。
 さらに「大腸がんが女性の死亡原因の第1位※であること」を知っていた男性が20.0%、女性は48.0%。
 また「大腸がんは進行するまでほとんど自覚症状がないこと」を知っていた男性が42.7%、女性は56.0%で、これら3項目は全国より女性は高いです。

※国立がん研究センターがん情報サービス『がん登録・統計（2014年の実績）』より

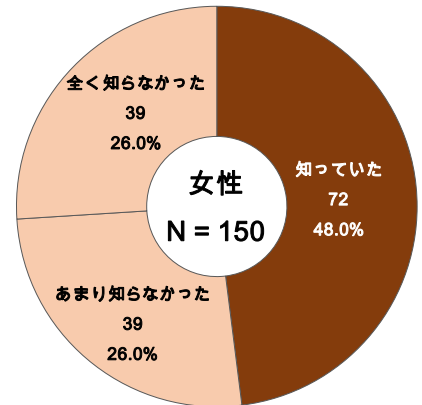
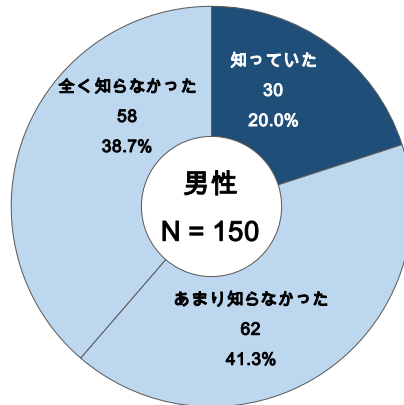
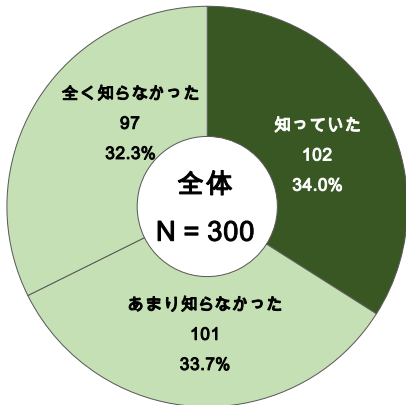
<大腸がん 死亡者数順位の認知>

設問：あなたは、以下の事について知っていますか？ 大腸がんが胃がんを抜いてがん死亡者数の2位になった。（単一回答）



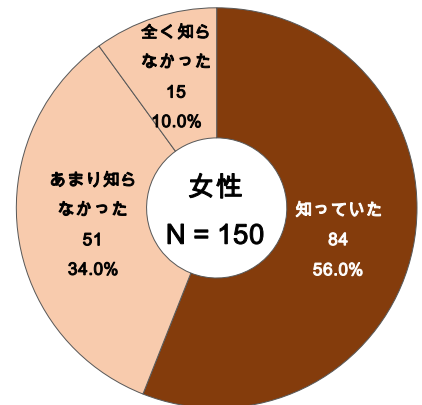
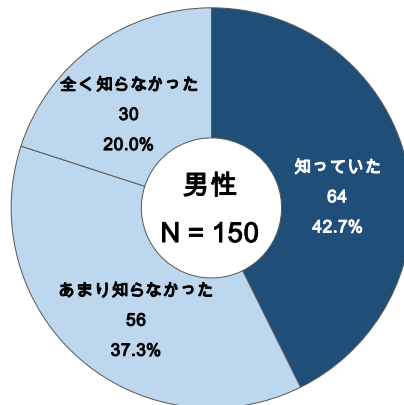
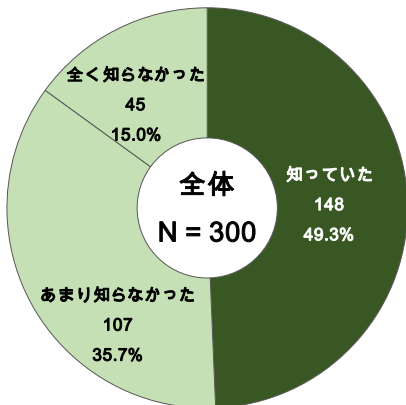
<大腸がん 女性の死亡原因が1位であることの認知>

設問：あなたは、以下の事について知っていますか？ 最近の女性のがん死亡原因の第1位が大腸がんである。（単一回答）



<大腸がん 自覚症状有無の認知>

設問：あなたは、以下の事について知っていますか？ 大腸がんは進行するまでほとんど自覚症状がない。（単一回答）

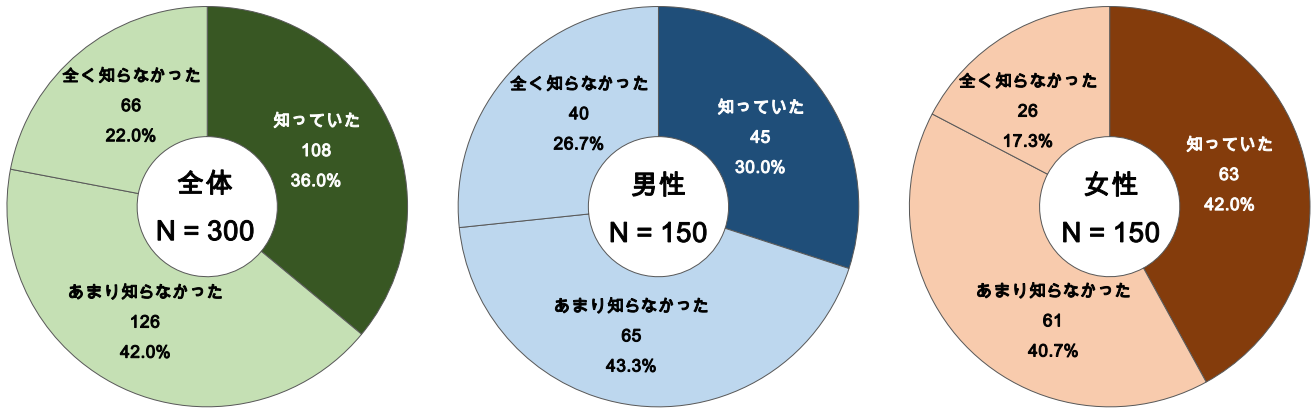


■大腸がんは早期発見・早期治療すれば治ることの認識

大腸がんは危険な病気ですが「早期発見・治療すれば9割以上が完治する」ことを知っていた男性が30.0%、女性が42.0%でした。女性は全国より高く、男性はほぼ同じです。

<大腸がん 早期発見・治療による完治可能性の認知>

設問：あなたは、以下の事について知っていますか？ 大腸がんを早期発見・早期治療した場合、9割以上が完治する。（単一回答）



■大腸がんについての情報はどこから得ているか？

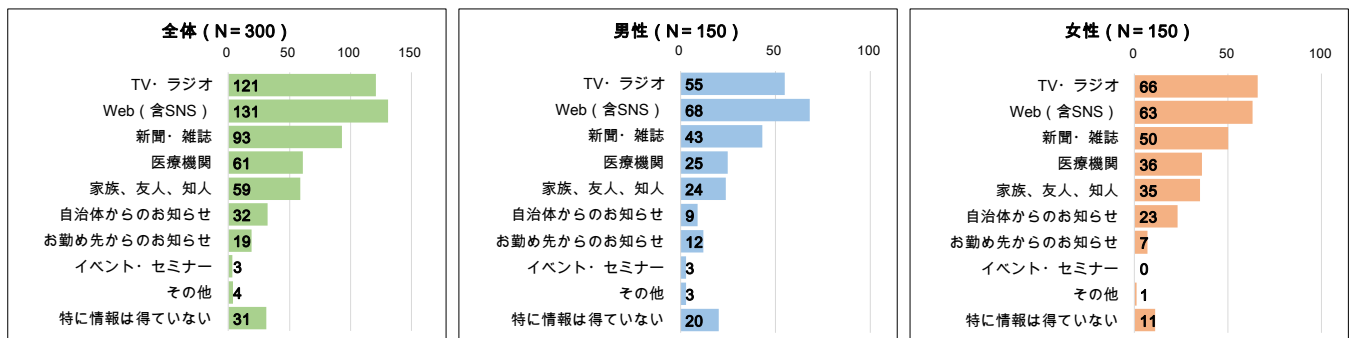
大腸がんの情報入手先の上位は「インターネット（SNS含む）」「TV・ラジオ」「新聞・雑誌」でした。

さらに「医療機関」「家族、友人、知人」をあげていました。女性は全国的に「家族、友人、知人」も多く、これらがどのように情報交換されているのかなど、さらに調査が必要です。

今後、大腸がん検診のお知らせの方法として、自治体のWebサイトとともにSNSを活用することも検討の余地があると思われます。

<大腸がんに関する情報の入手先>

設問：あなたは、大腸がんについての情報をどこから得ていますか？（複数回答可）



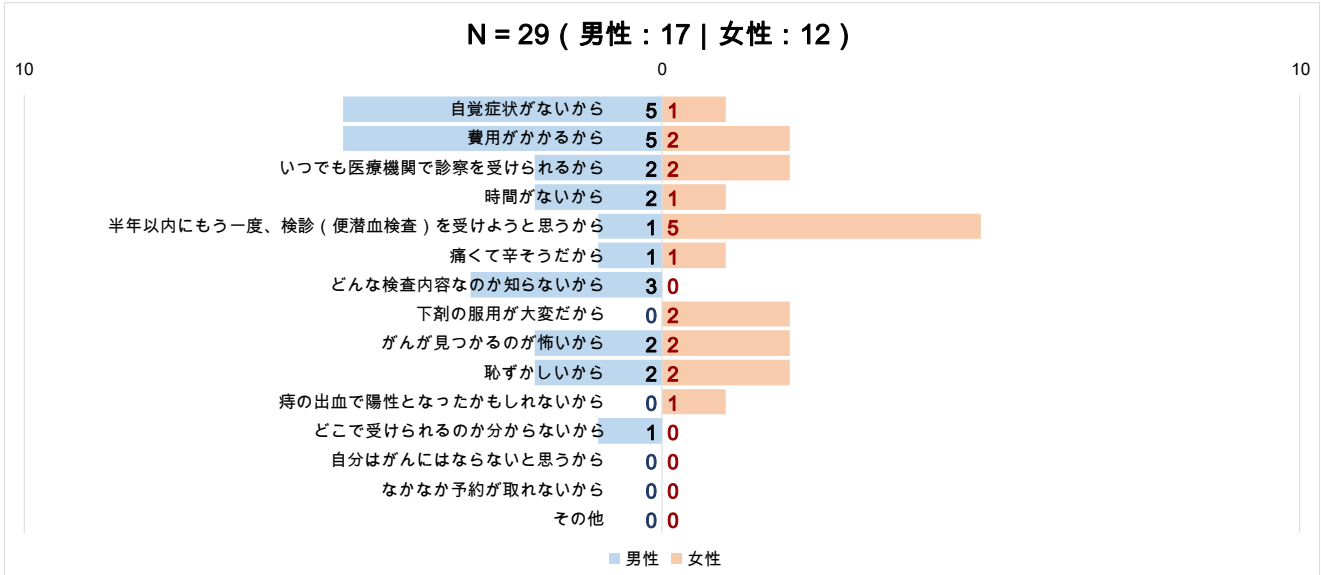
■大腸がん精密検査を受けない理由

大腸がん検診（便潜血検査）で陽性になった場合、「半年以内に大腸がん精密検査や医療機関での診察を受けない」と答えた人に理由を聞きました。男性は「自覚症状がない」「費用がかかる」「検査内容を知らない」が多く、女性は「半年以内にもう一度検診を受けようと思う」が多かったです。

<大腸がん精密検査（内視鏡検査等）の未受診理由>

設問：「大腸がん検診（便潜血検査）で陽性（要精密検査）となった場合はどのように対応しますか？」という質問で、

「半年以内に精密検査（大腸内視鏡検査等）を受ける」「半年以内に医療機関で診察を受ける」とお答えにならなかった理由を教えてください。（複数回答可）
 （もし陽性（要精密検査）になった場合、「『半年以内に精密検査（大腸内視鏡検査等）を受ける』『半年以内に医療機関で診察を受ける』と答えなかった方」を対象）



大腸がんに関する全国意識調査の新しい試み

■健康保険の種類と「大腸がん検診を毎年受けている」と答えた人の関係について

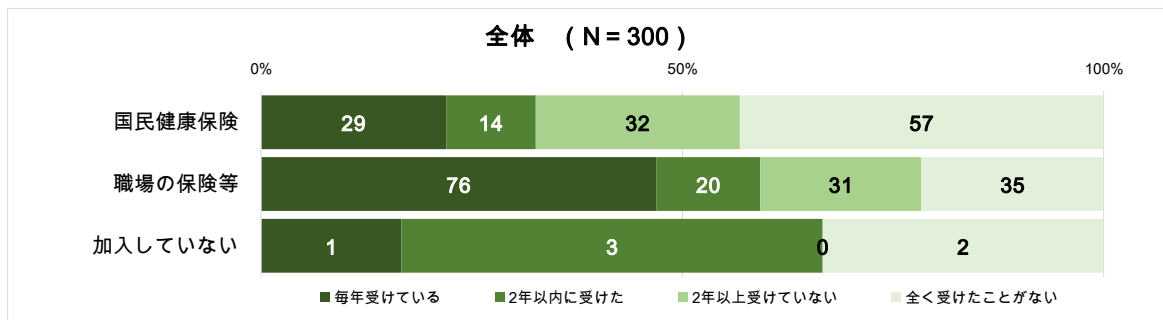
今回新しい試みとして、健康保険の種類と「大腸がん検診を毎年受けている」と答えた人の関係を調べてみました。その結果、徳島県の回答者のうち国民健康保険の加入者は132名、職場の保険等の加入者は162名、未加入者は6名でした。「大腸がん検診を毎年受けている」と答えた人は、国民健康保険加入者が22.0% (29名)、職場の保険等加入者が46.9% (76名)と両健康保険共に全国より低くなりました。

<健康保険の種類と大腸がん検診(便潜血検査)受診の関係>

設問：あなたは、大腸がん検診(便潜血検査)を受けたことがありますか？(単一回答)

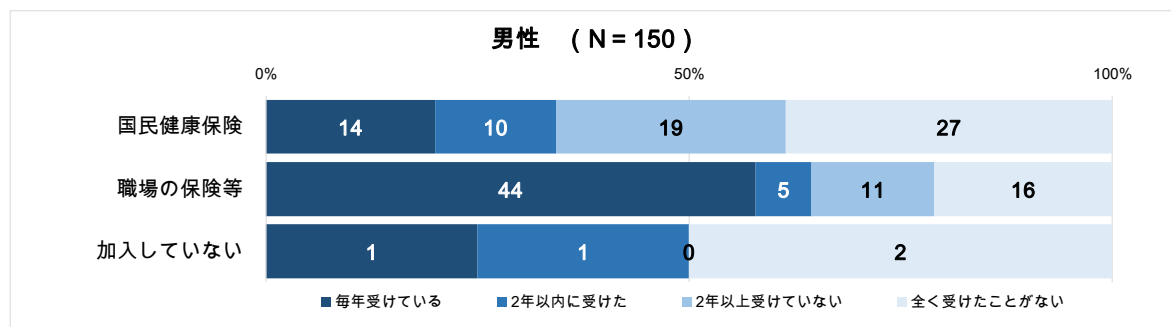
設問：あなたが現在加入している健康保険の種類は次のうちどれですか？(単一回答)

	毎年受けている	2年以内に受けた	2年以上受けていない	全く受けたことがない	全体
国民健康保険	29 22.0%	14 10.6%	32 24.2%	57 43.2%	132 100.0%
職場の保険等	76 46.9%	20 12.3%	31 19.1%	35 21.6%	162 100.0%
加入していない	1 16.7%	3 50.0%	0 0.0%	2 33.3%	6 100.0%
総計	106 35.3%	37 12.3%	63 21.0%	94 31.3%	300 100.0%



男女別に見ると、国民健康保険加入者で「大腸がん検診を毎年受けている」と答えた男性は20.0% (14名)、女性は24.2% (15名)、また職場の保険等加入者の男性は57.9% (44名)、女性は37.2% (32名)と男女共に全国より低くなりました。

	毎年受けている	2年以内に受けた	2年以上受けていない	全く受けたことがない	男性
国民健康保険	14 20.0%	10 14.3%	19 27.1%	27 38.6%	70 100.0%
職場の保険等	44 57.9%	5 6.6%	11 14.5%	16 21.1%	76 100.0%
加入していない	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	4 100.0%
総計	59 39.3%	16 10.7%	30 20.0%	45 30.0%	150 100.0%



	毎年受けている	2年以内に受けた	2年以上受けていない	全く受けたことがない	女性
国民健康保険	15 24.2%	4 6.5%	13 21.0%	30 48.4%	62 100.0%
職場の保険等	32 37.2%	15 17.4%	20 23.3%	19 22.1%	86 100.0%
加入していない	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
総計	47 31.3%	21 14.0%	33 22.0%	49 32.7%	150 100.0%

